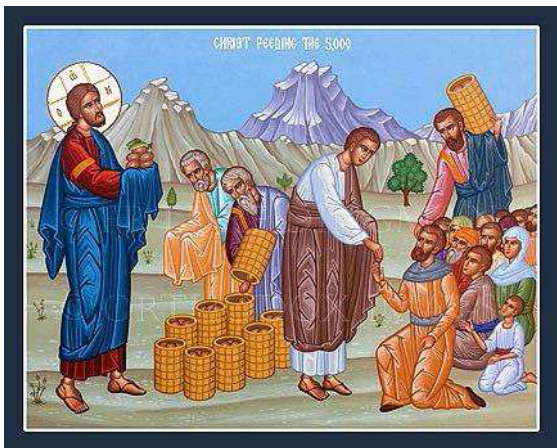


CAGLIERO¹¹

カリエロ 11

サレジオ会宣教ニュース N.74 - 2015年2月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



宣教活動支援の 透明性について

毎年、資金の割り当ての際に、み摂理がいかに私たちを助けてくださるか、直接体験します。特に、ドン・ボスコの子たちにゆだねられた使命に全面的に献身する私たちはそのことを実感します。ご存知のように、配布される連帯の財源は総長直轄の**宣教事務局**です。ことに最近、マドリッドとニューロシェル(米国)の宣教事務局です。さらに、数多くのサレジオ・ミッションの**恩人や友人**の支援が加わります。私たちはこの方々に、いつまでも感謝と祈りの恩を負うものです。

次の指針は、すでに前の6か年に宣教顧問と財務顧問から出されたものに統合されなければなりません。特に最高評議会報381号(2003年)、また2011年6月24日付通達 - Prot: 11/0243で打ち出されたものです。

支援金の割り当てのために、次の**一般的規範**を強調したいと思います：

- 絶対的に優先されるのは、サレジオ会員の**養成**と、**最も貧しい青少年**を直接対象とするプロジェクトです。
- **建物**のためにはより少ない支援になります。
- 宣教地支援における管区の専門的責任のしるしとして、**計画・開発事務局** (Planning and Development Office=PDO) の創設あるいは強化を奨励します。

支援金の手続きにおいて、すでによく知られ、よく根づいた実践に加え、次のことに注目します：

- 支援要請を行うのは管区長に限られます。指定の申請用紙に管区長が署名します。
- 申請の提出期限は**4月30日**と**10月30日**を厳守。この日付けを過ぎると、申請はそのまま次の配布に回されます。
- 資格取得、博士課程のための**奨学金**交付の期間は3年まで。
- 養成のための申請には：(a) 全体の予算；(b) 管区が負担する金額；(c) 総長 (Procura 宣教事務局) の支援を願う金額を添えます。
- 支援許諾の必須条件には、すでに知られているものに加え、今後、次のものが入ります：
 - ・ 管区の前年の**年間賃借対照表**が財務顧問に送られていること；年間の賃借対照表をまだ提出していない管区からの申請は、受け付けられません；
 - ・ 最終の配布で受け取った資金の会計報告が総本部 (財務顧問と宣教部門：sms@sdb.org) と関係の宣教事務局に送られていること。この報告がなければ、宣教事務局はほかのキャンペーンを立ち上げることはできません。ある管区が宣教事務局に対して透明性を示すことができないとき、通常、他の管区の得られる支援を妨げたり条件を狭めたりすることになります；
 - 許諾されなかった申請は、自動的に次の配布に回されるわけではありません。もし、なおも必要なものであり、その間に資金調達の手段がほかになかったならば、再提出されなければなりません。

ドン・ボスコのうちに。

宣教顧問
ギジェルモ・バサニェス神父

財務顧問
ジャン・ポール・ミュラー修道士

「**2014年サレジオ宣教の日**」キャンペーンで、中央イタリア管区は**22,805ユーロ**を集めました。その全額は、**インター・アメリカ地域の移民のための管区合同宣教プロジェクト**に送られます。

**2014年
サレジオ宣教の日**

キリストを告げ知らせる喜びを、私はほかの何ものにも換えません!



私はポーランド国境に近いスロバキアの北部で、とても信仰深い家庭に生まれました。若いとき、私はスポーツに長けていて、重量挙げが大好きでした。国内で優勝するほどでした! スロバキアのチャンピオン選手会にも入っていました。ある日、やはりこのグループの一員だった友人が、数学と物理の先生という人に私を紹介しました。その人は中等学校で数学と物理を教えていましたが、公に教師として働くことはできませんでした。信仰のため、当時、国を支配していた共産政権に迫害されていたのです。

彼は私の通っていた中等学校の町に住んでいたため、私はたびたび彼を訪ねました。私たちはその人を“ゴッドファーザー”と呼びました。皆で彼の家に集まり、聖書を読み、黙想のしかたを教わりました。私たちは彼の生活や仕事のこと、人生の意味、神様のことを話しました。その人は、黙想会や静修、山歩きのために私たちを山小屋に招待してくれましたが、自分のことを司祭あるいはサレジオ会員として紹介したことはありませんでした。私がキリスト者として、サレジオ会員、司祭、宣教師としての自分の召命を見いだすために、この先生はとても助けてくれました。

あるとき、先生はエクアドルで働く宣教師を招待しました。それはヤン・ツカ神父で、共産党が国を支配する以前、サレジオ会の中等学校で2人は同級生だったのです。私は生まれて初めて宣教師に出会いました。

また、シュアール族のことやその文化について耳にするのも初めてでした。この出会いは、私の宣教師召命誕生の瞬間となりました!

中等学校を終えた私は大学で獣医学を学び始めましたが、重量挙げに時間をかけすぎて勉強がうまくいかなくなりました。幸い私は、サレジオ・コオペラトリー会員がリーダーを務める大学生グループの会合に参加していました。このリーダーを通してコオペラトリーと知り合い、特にサレジオ会員たちと知り合いになりました。私は彼らの修道院を訪ね、祈りや黙想、告解をしたり、聖人の生涯や哲学、神学を学んだり、ほかの青年たちと使徒職に取り組んだりしました。

大学を卒業し、1年間の兵役を終えた後、私は獣医として働き、郵便局でも働きました。そして1988年、私はサレジオ会への入会を決心し、自分の国で養成の全過程を受けました。叙階後、私はオラトリオを担当し、その後、ブラチスラバのサレジオ会の教会で働きました。

2005年以来、私は宣教師としてエクアドルで働いています。最初の4年間、エクアドル・アマゾンの辺境で働きましたが、今はタイシャにいます。私たちの共同体のメンバーは3人のサレジオ会員と1人の信徒ボランティアで、32のシュアールの共同体を世話しています。私に任された地域はエクアドルの熱帯雨林で、道路も小道もなく、たくさんの川の流れる森が広がっています。移動手段はモーターボートか馬、あるいは徒歩しかありません。毎週、モーターボートとガソリン、荷物、そのほか司牧活動に必要なものを準備します。確かに生活は大変ですが、シュアールの人々とキリストを分かち合うとき心に味わう喜びを、私はほかの何ものにも換えようとは思いません!



スロバキア出身、エクアドルの宣教師
アントン・オドロビニャク神父



サレジオの宣教の聖性のあかし

中国とベトナムの宣教師、神の僕アンジェイ・マチェン(1904 - 1999)は、聖水で十字のしるしを切り、次のように唱えて祈っていました:「主よ、古い人を取り除き、義と聖性のうちに創造された新しい人を私に着せてください。」マチェン神父は修練生、司祭、宣教師として、また司祭職の金祝を祝ったときにもこの祈りを唱えました。



サレジオ会の宣教の意向

インター・アメリカ地域の家庭の司牧のために

各管区が、特に崩壊した家庭、機能不全に陥った家庭出身の若者のための新たな取り組みを始める勇気を持ちますように。

インター・アメリカ地域の国々の多くの若者が、崩壊した家庭、機能不全の家庭で育っています。この現象は、貧しい国々でも、またカナダや米国のようなより豊かな国でも同じように、あまりに多く見られます。単身で中米の国からメキシコへ旅をし、米国に入るため困難と危険に満ちた国境を越えようとする何千人もの若者、中には未成年の子どもたちもいます。この貧しく見捨てられた若者たちは、彼らのために新たな取り組みを立ち上げるようにとの、この地域のすべてのサレジオ会管区への預言的な、心揺さぶる呼びかけです。

